

学校経営の基本方針

- 1 一人一人のよさを生かした教育活動を展開する。
- 2 確かな学力を育む授業づくりに取り組む。
- 3 9年間で育てていく小中連携教育を推進する。
- 4 地域とともにある学校づくりを推進する。

本校は、平成28年に旧大貫小学校と旧夏海小学校が統合した、開校8年目の学校です。校舎は南中学校と同一敷地内に併設されており、校舎間の渡り廊下（ガレリア）によってつながっています。小学生と中学生がともに学び合いながら学校生活を送れる素晴らしい環境となっています。

校舎が中学校と併設していること、さらに一小一中体制であることを本校の強みと捉えて、開校より、児童生徒を9年間で育てる小中連携教育を一つの柱として取り組んでいます。小学校教員が中学校で指導を行うとともに中学校教員が小学校で指導を行う「相互乗り入れ授業」を実施しています。中学校教員が教科の専門性を生かして小学校の授業づくりに加わることで授業内容が深まっています。そして、小学校教員が中学校での指導に関わることで、子どもたちがどのように成長していくかを、実際に目で確かめることができます。この取組によって、児童・生徒の不安感の軽減ばかりではなく、教職員の他校種への理解や授業改善にもつながっています。

さらに、持続可能な連携体制として、今年度は、3つの研究部に組織を改編しました。9年間を見通した生徒指導や保健指導、異学年の交流活動など、教職員一人ひとりが明確な役割をもち、主体的に取り組むことで、学校の活性化に繋げていきたいと思えます。そして、令和5年11月23日（木）には、第18回小中合同教育実践研究発表会を実施する予定です。新たな主題を設定し、南中と共に研究を進めていきたいと思えます。皆様にご参会いただき、ご批評を賜りますようお願い申し上げます。

また、昨年度から「大洗うみ・まちコミュニティスクール」（南エリア）として、学校運営協議会を立ち上げました。今年度は、実質的なスタートの年と位置づけています。今後も、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの成長を支えていく「地域とともにある学校」づくりに努めていきます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

校長 福田 雅美